

社会福祉学科

ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

社会福祉学科において、以下を修得した学生に対して、学位を授与する。

社会福祉学科

1. 人を理解するための幅広い教養と福祉に関する専門的な知識を持ち、福祉の専門職として人を支援するための基本的技術を有している。
(社会福祉専攻)
 - 1-1. 社会福祉に関する基礎的な知識、技術について理解している。
 - 1-2. ソーシャルワークの理解や心理、アート、健康、スポーツ等の知識を身につけている。
 - 1-3. 対人援助に必要な知識・技術について理解している。
 - 1-4. 利用者の立場にたつて物事を判断し、理解していく力を身につけている。
 - 1-5. 論理的な根拠をもって援助を計画的に実践していく力を身につけている。(介護福祉専攻)
 - 1-1. あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識を習得している。
 - 1-2. 介護に関する社会保障の制度、施策についての基本的知識を習得し、理解している。
 - 1-3. 介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解している。
 - 1-4. あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を習得している。
 - 1-5. 介護実践の根拠を理解している。
 - 1-6. 利用者本位・自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供できる能力を身につけている。
2. 福祉の専門職として人権を尊重する高い倫理観を有し、専門的な知識を活用しながら、保健・医療・福祉・教育の関連職種と連携して、主体的に問題を解決する能力を有している。
(社会福祉専攻)
 - 2-1. 人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。
 - 2-2. 問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
 - 2-3. 価値観や倫理観と向き合いながら自らを律し、利用者を理解していくことができる。
 - 2-4. 他者と協調・協同して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。(介護福祉専攻)
 - 2-1. 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
 - 2-2. 問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
 - 2-3. 自らを律して行動できる。
 - 2-4. 他の職種の役割を理解しチームに参画する能力を身につけている。
 - 2-5. 尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につけている。
3. 人や地域社会とあたたかい関わりをもち、円滑な人間関係を築き上げるコミュニケーション能力を有している。
(社会福祉専攻)
 - 3-1. 利用者にあった方法でコミュニケーションを実践できる力を身につけている。
 - 3-2. 情報を的確に伝える力や解りやすく説明できる能力を身につけている。
 - 3-3. 感じたことや考察したことなどを記録したり、記述したりすることができる。(介護福祉専攻)
 - 3-1. コミュニケーションのとり方の基本を身につけている。
 - 3-2. 他者に共感でき、相手の立場に立って考えることができる姿勢を身につけている。
 - 3-3. 的確な記録・記述の方法を身につけている。
4. 福祉の専門職として、よりよき社会の形成に自ら貢献する生涯学習力と実践力を有している。

カリキュラム・ポリシー

社会福祉学科は、「教育目的」を達成するために、以下のようにカリキュラムを組み立てている。

1. 教育課程編成の基本方針

本学社会福祉学科の教育目標を踏まえ、福祉の専門職業人として必要な基本的態度・習慣、人間性を身に付け、福祉の専門職として必要とされる専門知識、判断力、援助技術を修得できるように教育課程の枠組みを「総合科目」

と「専門科目」とで構成している。卒業要件72単位に対する教養教育にあたる「総合科目」においては、社会福祉専攻では11単位以上、介護福祉専攻では8単位以上の履修とし、「専門科目」においては、社会福祉専攻では61単位以上、介護福祉専攻では64単位以上としている。

教育課程の編成については、それぞれの授業科目が有機的かつ体系的に学習できるように編成している。また、社会福祉専攻においては、「社会福祉総合」・「福祉心理」・「健康福祉」・「スポーツ福祉」・「アート福祉」・「心理専修」の6つの履修コースを設け、各コースに応じた多様な「専門総合科目」を配置し、学生個々の興味・関心に応じた学びを促進し、幅広い知識・技能を生かした個性ある福祉人材を育てることを目指している。

2. 科目群の構成

(1) 総合科目

総合科目は、地域社会に貢献できる福祉専門職としての土台となる幅広い教養を身につけ、人権を尊重する倫理観および主体的な学びの態度を涵養し、コミュニケーションスキルを習得するための科目群から構成される。

人間と現代の理解

人間を客観的に理解し多面的に捉えるための幅広い教養を身につけ、理論的根拠と結びつけながら専門科目を学習するための基礎力を醸成する。また、福祉を学ぶ者として、人権を尊重する高い倫理観を涵養することを目的とし、「人間の心理・行動・関係を理解するための科目」と「倫理性を高めるための科目」を配置する。

生涯学習力

社会的な問題に主体的に取り組む態度を涵養し、学ぶ主体である「私」をつくり続けることができる生涯学習力を涵養することを目的とし、「生涯学習力を高めるための科目」を配置する。また、それらにキャリアガイダンスを取り入れると共に、「週フォリオ（自己の記録）」の取り組みを促し、ADによるキャリア支援を学習・生活等と関連づけて総合的に進める。

コミュニケーション

人間社会で一人の職業人として、さらに人に対応する福祉専門職として基本となるコミュニケーション力の育成を意図する。さらに国際化社会に対応し、人の反応を的確に捉え、意図的に情報を活用できるコミュニケーション力を育成することを目的とし、「コミュニケーション力、日本語・英語の表現力、ITを活用した情報リテラシーを高めるための科目」を配置する。

(2) 専門科目

専門科目は、社会福祉学の専門知識や隣接関連領域の理解および福祉専門職としての技術を習得するための専門科目群から構成される。

社会福祉専攻

福祉の専門知識と技術を修得し、人や地域社会とあたたかい関わりをもち、人権を擁護することのできる人間性豊かなソーシャルワーカー（社会福祉士）や地域社会に貢献できる福祉人材の育成を図るために、社会福祉専攻では、「人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法」、「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」、「地域福祉の基礎整備と開発に関する知識と技術」、「サービスに関する知識」、「実習・演習」、「専門総合科目」の各領域に属する専門科目群を配置している。また「専門総合科目」は、「ソーシャルワーク」、「心理」、「健康」、「スポーツ」、「アート」の各領域に属する専門科目群から構成され、学生個々の興味・関心に応じた学びの機会を提供し、個性豊かな福祉人材を育成することを目標としている。

「実習」に関しては、社会福祉の実践現場における相談援助活動に係る知識と技術の基本を習得し、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己の課題把握など総合的に対応できる能力を養うために「相談援助実習指導」と「相談援助現場実習」を配置している。

介護福祉専攻

介護の専門知識と技術を修得し、生活支援を必要とする人の尊厳と自立支援の意義を理解し、より良い援助関係を築くための豊かな感性を伸長できる介護福祉士の育成を図るために、介護福祉専攻では、「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「実習・演習」の各領域に属する専門科目群を配置している。

「実習」に関しては、介護福祉の実践現場における基本的な生活支援技術、コミュニケーション技術、利用者の個別性を尊重した介護計画の立案、実施、評価、修正のための知識と技術を習得し、介護福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己の課題把握など総合的な能力を養うために「介護総合演習」と「介護実習」を配置している。

アドミッション・ポリシー

社会福祉学科

1. 福祉に対する興味や関心があり、福祉を学ぶ意欲と常に自己を高めようとする意識を有する人。
2. 自らを律し、他人や地域・社会の役に立とうとする意識を有する人。
3. 思いやりの心を持ち、円滑なコミュニケーションをとる努力ができる人。